



2026 年 8 月 19 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 オ キ サ イ ド
代 表 者 名 代表取締役 COO 山 本 正 幸
(コード番号：6521 東証グロース)
問 合 せ 先 上級執行役員 CFO 竹 内 健 吾
(TEL. 0551-26-0022)

データセンターに利用されるファラデー回転子の増産に向けた設備投資に関するお知らせ

当社は、本日開催の執行役員会において、生成 AI の普及拡大に伴うデータセンター向け光通信市場の成長を背景として、ファラデー回転子の生産能力増強を目的とした設備投資を実施することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 取得の理由

近年、生成 AI の普及拡大に伴いデータセンター内及びデータセンター間における通信の高速・大容量化が進展しております。これに伴い、高速・大容量通信を実現する光トランシーバーの需要が急速に拡大しており、その安定動作に必要なファラデー回転子の需要も増加しております。

当社は、長年培ってきた単結晶育成技術を活用し、ファラデー回転子を展開しております。こうした市場環境を踏まえ、需要拡大への対応と供給能力の強化を目的として、関連設備への投資を実施することといたしました。

ファラデー回転子は、光トランシーバーに搭載される光アイソレータの中核部品であり、光の偏光面を回転させ、偏光板と組み合わせることで、レーザ光源や光回路を反射光から保護する役割を担います。光通信システムの安定性と信頼性の向上に重要な部品です。

当社は、本設備投資により、新領域事業における成長機会を着実に取り込み、当社グループの中長期的な企業価値の向上につなげてまいります。

2. 取得資産の内容

- | | |
|-----------|---------------------|
| (1) 所在地 | 当社第 6 工場（山梨県北杜市）※予定 |
| (2) 資産の内容 | ファラデー回転子の増産に係る生産設備 |
| (3) 取得価額 | 1,455 百万円（予定） |
| (4) 稼働開始日 | 2027 年 2 月期下半期中（予定） |

3. 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、本設備投資による 2027 年 2 月期連結業績への影響は軽微であり、現時点において 2026 年 4 月 14 日に公表しました業績予想の見直しは行っておりません。今後、業績予想の修正が必要であると判断した場合には、速やかに開示いたします。

以上